



2020年10月30日

各 位

会 社 名 株式会社 サックスーパーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 木山 剛史
(コード番号 9990 東証 第一部)
問合せ先 常務取締役管理部長 山田 陽
TEL 03-3654-5315

2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異
及び通期業績予想の修正並びに中期経営計画の修正に関するお知らせ

2020年7月30日付「2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日発表の実績値との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期業績予想の修正を行なうとともに、2019年5月10日付「中期経営計画に関するお知らせ」において公表しました中期経営計画の2022年3月期の連結業績計画の修正を行ないましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異について
(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年7月30日発表)	百万円 16,532	百万円 △655	百万円 △608	百万円 △662	円 銭 △22.82
実績値(B)	14,930	△1,348	△1,253	△1,095	△37.72
増減額(B-A)	△1,602	△692	△645	△432	—
増減率(%)	△9.7	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2020年3月期第2四半期)	27,108	1,821	1,877	1,157	39.43

差異の理由

当社グループでは、2020年7月以降、新型コロナウイルスの感染拡大がある程度抑制された状態が続き、消費動向が徐々に回復の方向に向かうと想定して業績予想を策定しましたが、7月から8月にかけて新型コロナウイルス感染者が再び増加に転じたことにより消費動向の回復が遅れました。さらに、小売事業・卸売事業ともに、外出自粛により旅行や出張、お盆の帰省等が激減し、トラベルバッグの売上が大幅に減少したため、第2四半期連結会計期間の売上高が予想を14.5%下回りました。それに伴い、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がプラスに転じる予測に対し、実績値はマイナスとなり、それぞれ損失が増加しました。

2. 2021年3月期の通期連結業績予想の修正について

(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2020年7月30日発表)	百万円 44,763	百万円 1,181	百万円 1,255	百万円 410	円 銭 14.14
今回修正予想(B)	41,136	△108	14	△356	△12.27
増減額(B-A)	△3,627	△1,290	△1,240	△767	—
増減率(%)	△8.1	—	△98.8	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期通期)	52,523	2,670	2,762	1,668	57.05

修正の理由

2021年3月期の第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2021年3月期の通期の業績予想の見直しを行なっております。

第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が見られましたが、今後、感染拡大がある程度抑制され、第2波が起こらないこと、また、消費動向が徐々に回復の方向に向かいながらも今期中は一定程度の影響が残ることを前提として連結業績予想を公表いたします。

3. 中期経営計画の2022年3月期の連結業績計画の修正について
(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円、%)

	前回発表予想 (A) (2019年5月 10日発表)	売上比	今回修正予想 (B)	売上比	増減額 (B-A)	増減率
売上高	61,703	—	55,560	—	△6,142	△10.0
売上総利益	29,893	48.4	26,528	47.7	△3,364	△11.3
販売費及び 一般管理費	25,436	41.2	22,954	41.3	△2,482	△9.8
営業利益	4,456	7.2	3,574	6.4	△882	△19.8
経常利益	4,494	7.3	3,621	6.5	△872	△19.4
親会社株主 に帰属する 当期純利益	2,637	4.3	2,114	3.8	△523	△19.8

小売事業部門 出退店数及び既存店売上前期比の計画

	前回発表予想(A) (2019年5月10日 発表)	今回修正予想 (B)	増減 (B-A)
出店数	35	9	△26
退店数	12	8	△4
期末店舗数	698	650	△48
既存店売上前期比(%)	100.9	—	—

(注)既存店売上前期比については、2020年4月、5月に大半の店舗が臨時休業を行ない、また、6月から9月にかけても売上高の大幅な低下があったため、算出しておらず、今回の修正予想を記載しておりません。

修正の理由

2021年3月期の第2四半期連結累計期間の業績を踏まえて、2022年3月期の通期の業績予想の見直しを行なっております。

計画の策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症の大きなマイナス影響が発生しないことを前提としておりますが、卸売事業については主力のトラベルケースの十分な回復が見込めず、売上高は通常ベースから2割程度の減少を織り込んでおります。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上